

子の氏の変更許可（子が15歳以上）

1. 概要

子が、父又は母と氏を異にする場合には、その子は、家庭裁判所の許可を得て、父又は母の氏を称することができます。

例えば、父母が離婚し、父の戸籍にあって父の氏を称している子が、母の戸籍に移り母の氏を称したいときには、この申立てをして、家庭裁判所の許可を得る必要があります。

なお、父母が婚姻中の場合には家庭裁判所の許可は必要ありません。

2. 申立人

子

3. 申立先

子の住所地の家庭裁判所（複数の子が申し立てる場合は、そのうちの1人の子の住所地を管轄する家庭裁判所に申し立てることができます。）

4. 申立てに必要な費用

- 収入印紙 子1人につき800円分
- 郵便切手 子1人につき82円を1枚

5. 申立てに必要な書類

(1) 申立書

(2) 標準的な申立添付書類

- 申立人（子）の戸籍謄本（全部事項証明書）
- 父・母の戸籍謄本（全部事項証明書）

※ 子と戸籍が別になった理由が、父母の離婚の場合、離婚の記載のあるものが必要です。

※ 同じ書類は1通で足りません。

※ 審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。

6. 手続の内容に関する説明

Q1. 許可されたときは、どのような手続をすればよいのですか。

A. 子の戸籍を移動するには、家庭裁判所の許可を得た後に、市区町村役場に届出をすることが必要になりますので、子の本籍地又は届出人の住所地の役場に入籍の届出をしてください。届出にあたっては、審判書謄本のほか、戸籍謄本（全部事項証明書）などの提出を求められることがありますので、詳しくは届出する役場にお問い合わせください。

Q2. 子の氏変更が許可され母の戸籍に入籍した後，再度父の戸籍に入籍し父の氏を称することはできますか。

A. 再度の変更を希望する場合は，家庭裁判所で再度「子の氏の変更」の手続をしなければなりません。

ただし，以前の手続をしたときに，お子さんが未成年であったときは，お子さんが成年に達して1年以内であれば，市区町村役場で入籍の届出をするだけで父の戸籍に入籍することができ，父の氏を称することができます。

受付印	
収入印紙	円
予納郵便切手	円

子の氏の変更許可申立書
(この欄に申立人1人について収入印紙800円分を貼ってください。)
(貼った印紙に押印しないでください。)

準口頭	関連事件番号 平成 年(家) 第 号
-----	---------------------

家庭裁判所 御中	申立人 (15歳未満の 場合は法定代 理人 の記名押印)	印
平成 年 月 日		

添付書類	(同じ書類は1通で足够了。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 申立人(子)の戸籍謄本(全部事項証明書) <input type="checkbox"/> 父・母の戸籍謄本(全部事項証明書)
<input type="checkbox"/>	

申 立 人 (子)	本籍	都 道 府 県	
	住所	〒 -	電話 () () 方
	フリガナ氏名		昭和 平成 年 月 日生 () 歳
	本籍住所	※ 上記申立人と同じ	
	フリガナ氏名		昭和 平成 年 月 日生 () 歳
	本籍住所	※ 上記申立人と同じ	
☆ 法定代理人 (父・母 後見人)	本籍	都 道 府 県	
	住所	〒 -	電話 () () 方
	フリガナ氏名	フリガナ氏名	

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、各申立人の本籍及び住所が異なる場合はそれぞれ記入してください。 ☆の部分は、申立人が15歳未満の場合に記入してください。

申 立 て の 趣 旨	
※ 申立人の氏 () を	1 母 2 父 の氏 () に変更することの許可を求める。 3 父母

(注) ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、()内に具体的に記入してください。

申 立 て の 理 由	
父 ・ 母 と 氏 を 異 に す る 理 由	
※ 1 父 母 の 離 婚 2 父 ・ 母 の 婚 姻 3 父 ・ 母 の 養 子 縁 組 4 父 ・ 母 の 養 子 離 縁	5 父 の 認 知 6 父(母)死亡後, 母(父)の復氏 7 その他 () (その年月日 平成 年 月 日)
申 立 て の 動 機	
※ 1 母との同居生活上の支障 2 父との同居生活上の支障 3 入 園 ・ 入 学 4 就 職	5 結 婚 6 その他 ()

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、父・母と氏を異にする理由の7、申立ての動機の6を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。

記入例1 申立人が15歳以上の場合

申立書を提出する裁判所（子の住所地の家庭裁判所）

作成年月日

受付印		子の氏の変更許可申立書	
(この欄に申立人1人について収入印紙800円分を貼ってください。)			
収入印紙 円		印紙	
子納郵便切手 円		(貼った印紙に押印しないでください。)	

準口頭	関連事件番号	平成	年(家)	第	号
-----	--------	----	------	---	---

○ ○	家庭裁判所	申立人 〔15歳未満の 場合は法定代 理人 の記名押印〕	乙野太郎	(印)
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	御中			

添付書類	<input type="checkbox"/> (同じ書類は1通で足りません。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) <input checked="" type="checkbox"/> 申立人(子)の戸籍謄本(全部事項証明書) <input checked="" type="checkbox"/> 父・母の戸籍謄本(全部事項証明書)	
------	---	--

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください(携帯電話でも構いません)。

子の現住所(裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください)。

子の現在の本籍地(「丁目」や「番」等も略さずにお書きください)。

子の氏名

申立人(子)	本籍	都道府県 ○○市○○町○番地		
	住所	〒○○○-○○○ ○○県○○市○○町○○丁目○○番○号(電話 ○○(○○○○)○○○○)		
	フリガナ	カノ 太郎		
	氏名	乙野太郎 (昭和○年○月○日生 (○○歳))		
	本籍住所	※ 上記申立人と同じ		
	フリガナ氏名	昭和○年○月○日生 (○○歳)		
☆ 法定代理人	本籍住所	※ 上記申立人と同じ		
	フリガナ氏名	昭和○年○月○日生 (○○歳)		
	本籍住所	都道府県 ○○市○○町○○番地 (電話 () () 方)		
父・母(後見人)	フリガナ氏名	フリガナ氏名		

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、各申立人の本籍及び住所が異なる場合はそれぞれ記入してください。 ☆の部分は、申立人が15歳未満の場合に記入してください。

子が移動したい先の戸籍

子の現在の名字

移動先の戸籍の名字

(子の現在の名字と同じであっても記入してください。)

申 立 て の 趣 旨	
※	
申立人の氏 (乙野) を	① 母 2 父 の氏 (甲野) に変更することの許可を求める。 3 父母

(注) ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、()内に具体的に記入してください。

申 立 て の 理 由	
父・母と氏を異にする理由	
※	
① 父 母 の 離 婚	5 父 の 認 知
2 父・母の婚姻	6 父(母)死亡後, 母(父)の復氏
3 父・母の養子縁組	7 その他 ()
4 父・母の養子離縁	
(その年月日 平成 ○年 ○月 ○日)	
申 立 て の 動 機	
※	
① 母との同居生活上の支障	5 結 婚
2 父との同居生活上の支障	6 その他 { }
3 入 園 ・ 入 学	
4 就 職	

(注) 太枠の中だけ記入してください。 ※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、父・母と氏を異にする理由の7、申立ての動機の6を選んだ場合には、()内に具体的に記入してください。

1~6に該当しないときはここに簡単に記入してください。

離婚等の年月日

父母の離婚によって親子の戸籍が別々となった場合

母と子が同居生活をしているが、戸籍が別々なので支障がある場合

1~5に該当しないときはここに簡単に記入してください。

数人の子について申立ての動機がそれぞれ異なる場合には、その旨を明らかにしてください。